

団体用

# 模様の焼き板

## プログラムの概要・ねらい

杉の板を火で焼き、木目を生かした壁飾りを作る。焼き方と板の木目で一人一人違った趣の壁飾りができる。また、アルミホイルを使って、好きな模様をつけることができる。

自分だけのオリジナル作品を作ることで、創意工夫する楽しさを体験することができる。

難易度：★★★（高）

場所	野外炊飯場		
時間	2時間		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	何人でも（1カマド8人～12人が適当）
準備物			
【利用者】軍手、新聞紙、ぼろ布、ライター、アルミホイル、別紙「野外炊飯（準備・片付け）」参照活動に適した服装、救急用品、			
【自然の家】材料（杉の板、ヒートン、ひも）薪、タワシ、ペンチ、キリ、はさみ、でんぷんのり、ポスカ（数に限りがあり。必要に応じて持参下さい。）			

## ①準備

別紙「野外炊飯準備・片付け」を参照し、事前準備をする。材料と野外炊飯場の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。

## ②実施の流れ

### 【時間】

- 0:00 作り方の説明  
かまどに火を起こす。（別紙「火付け」参照）
  - 0:30 アルミホイルを4等分に折り、好きな模様の形にはさみで切る。  
切ったアルミホイルにでんぷんのりをつけ、板に貼る。（1箇所1枚ずつ、重ねて貼る。1枚ごとにのりをつける。）（写真①）  
火ばさみを使って板をはさみ、**直接火**で炙る。（写真②）  
※木端部分が焦げにくいので注意する。  
※長時間焼くとアルミホイルの下も焼けてしまうので、動かしながら、1箇所が焼けすぎないようにする。  
※うまく焼けない場合は直接火の上に置いてもよいが、燃え尽きないように注意する。
  - 0:45 板が真っ黒になったら、火から下ろす（写真③）。
  - 1:00 バケツの中に水を入れ、その中でタワシを使って、「アルミホイルとコゲ」を落とす。（写真④）**磨きは、炊飯場の机の上では絶対に行わない。**
  - 1:15 **触って手に黒くつかない程度に磨く。**  
その後、風通しの良い場所で板を乾かす。
  - 1:30 壁掛けにする場合は、キリで穴を開け、ペンチを使ってヒートンを板に付け④ひもを通す。
  - 1:45 片付け
  - 2:00 終了
- 応用 板が乾いた後、ポスカで絵や文字を書く。  
※ポスカを使用する際は、新聞紙を敷く。  
ハイキング等で採集した木の実や枝などを、クラフト室にてホットボンド等で取り付けてもよい。

①



②



③



④



### ③後片付け

別紙「野外炊飯（準備・片付け）」を参照し、片付けをする。

余った材料、タワシ、ペンチ、キリ、ポスカ、野外炊飯場の鍵（ログハウスゾーンの場合は必要なし）を、サービスセンターへ返却する。

破損等があった場合はサービスセンター受付に申し出る。